

取水井戸調査委託業務仕様書

§ 1. 調査内容

1-1 一般事項

- (1) 調査件名：(仮称) 本山ハウス取水井戸調査委託業務
- (2) 調査場所：高知県長岡郡本山町松島

1-2 調査目的

当該敷地の地下水の取水可能量を調査することを目的とする。

1-3 調査内容

- (1) 調査位置 本山ハウス計画地内
- (2) 取水井戸調査
 - ・機械ボーリング：φ135mm 30m×1箇所
 - ・保孔管設置：VP100 30.5m
 - ・砂利充填：1式
 - ・揚水試験：1日
 - ・揚水試験資料整理：1式
 - ・資料整理取りまとめ：1業務
 - ・水質試験（一般調査項目11項目）：1回

1-4 調査内容一覧

表-1 調査内容一覧表

適用	調査地点番号 調査項目		No.	合計	備考
			1		
○	取	φ135mm 機械ボーリング (m)	30	30	
○	水	保孔管設置 VP100 (m)	30.5	30.5	
○	井	砂利充填 (式)	1	1	
○	戸	揚水試験 1日 (式)	1	1	
○	調	地下自由水位測定	ボーリング各地点		
○	査				
○	共	資機材運搬 4t・2.9t吊 (日)	2		
○	通	ボーリング 仮設機材設置撤去 (回)	1		
○	仮	足場・平坦 (空 m ³)	14.2	14.2	
○	設				
○	技	揚水試験資料整理 (式)	1	1	
○	術	資料整理取りまとめ (業務)	1	1	
○	管	水質試験 (一般調査項目11項目) (回)	1	1	
○	理				

(注) 原則として、掘進に使用する水は、受注者にて用意すること。

1 - 5 提出書類等

(1) 中間報告

業務実施中は調査職員に適宜報告を行う。報告内容は以下とし、作業終了後速やかに行うこと。

- ① ボーリング進捗状況、仮土質柱状図（速報）、掘進深度（掘止め）の決定根拠
- ② 現場作業終了後に出来高数量

(2) 調査報告書

提出部数：3部（A4サイズ）

報告事項は原則として下記の項目とする。

- ① 調査概要
 - i. 調査内容
 - ii. 調査位置図（BM, 標高, 調査深度等を記入）
- ② 解析結果
 - i. 資料整理取りまとめ
 - ii. 揚水試験資料整理及び解析
 - iii. 水質試験結果報告
- IV. 不明の項目
- ③ 調査結果の報告
- ④ 参考文献・調査記録写真
- ⑤ その他指示する事項

標高は T. P.（東京湾平均海面）表記とする。

各調査地点の標高は、水準点・三角点または調査職員が適当と認めた基準点から定め、敷地境界に接する道路縁石またはこれに代わるものの標高も1ヶ所以上測定する。

敷地中心の緯度・経度を 1/25000 または 1/50000 の地図より読み取り、調査位置図に 0.1 秒単位で明記する。

(3) 電子データ

提出部数：2部（正副1部）

調査平面図、図面類は CAD データ（原則として JWW 形式）、報告書及び添付の図表等は Word や PDF 等のデジタルデータでも提出すること。

§ 2. 調査・試験仕様

2-1 提出書類等

(1) 適用基準

- ・「日本工業規格（JIS）」
- ・「地盤調査法」「土質試験法」（地盤工学会編）

(2) 調査にあたっては既存物等の保護に留意し、損害を与えた場合は、受注者の責任において補償すること。また、作業完了後は直ちに仮設物、機器等を除去し、後かたづけ及び清掃を完全にして、敷地を原型に復すこと。

(3) 各原位置試験及び水質試験においては、初期の目的通りに掘進が完了した時点で、調査職員に中間報告を行うことを原則とする。

(4) 調査・試験の途中で、下記に示すような事態が生じた場合には、速やかに調査職員に報告し、その指示を受けること。

- ① 地盤が想定と著しく異なったり、現場諸条件の特異性により、掘進等が困難となった場合。
- ② 予定深度に達しても、地下水が取水できない場合。
- ③ その他、目的が達成できないと判断した場合。

2-2 計画変更

(1) 敷地の状況、別途発注の土質調査結果等により、本仕様書による計画数量や位置等を一部変更することがある。

(2) 計画数量等に変更が生じた場合には、原則として協議の上、調査委託料を精算する。

(3) その他、不測の事態による変更等は、その都度協議を行う。

2-3 立会・検査

下記段階での現場立会・検査を行うため、受注者は速やかにその日時を連絡すること。ただし、写真検査等により、現場立会を省略することがある。

- ① 調査位置、ベンチマーク等の確認
- ② ボーリング完了後の検尺
- ③ 各種原位置試験

2-4 安全管理

(1) 現場調査期間中は、第三者の不足の進入を防ぐため、安全対策を十分行うこと。

(2) その他、随時調査職員の指示に従うこと。

2-5 各種調査試験

(1) 機械ボーリング

- ① 工法はパークッションドリルボーリング（孔径 135mm 以上）とする。
- ② 調査地点について、ボーリング孔内の自由水位（孔内水位）を測定する。
- ③ なお、取水の有無によっては、掘削深度の変更を行うことがある。

(2) 井戸仕上げ

- ① 削孔後、ストレーナ加工を行った VP100 管（削孔深度+0.5m）を設置する。ストレー

ナ区間は地質状況・地下水位状況・滞水層能力を考慮し決定する。

- ② 掘削壁面との間隙には、豆砂利等を投入しフィルター層を形成する。孔口部等是不透水性のもので間詰めする。
- ③ 孔内のスライム等を排除洗浄するため、コンプレッサーを用いて孔内洗浄を行う。清水に回帰すれば、水中ポンプを設置し、揚水試験（1日）と水質試験の採水を行う。

(3) 技術管理

- ① 揚水試験結果の資料整理取りまとめ及び解析を行う。
- ② 成果報告書作成のための資料整理とりまとめを行う。
- ③ 水質試験（一般調査項目11項目）を行い報告する。

§ 3. その他事項

3-1 質疑応答

本調査の内容等について質疑がある場合は、令和元年12月24日12時までに質疑書をメール（様式任意）で委託名を記入して提出すること。また、質疑書を送信したときには、必ず下記提出先にその旨電話連絡すること。なお、メール以外の方法（FAX、電話等）によるものは受け付けません。

（提出先：新規事業開発プロジェクト 担当 西村・川村 宛

電話：075-672-4111

メールアドレスは、お電話にてお問合せ後、連絡いたします。

質疑があった場合は、質疑内容及び回答をメールで通知する。

（令和元年12月25日12時まで）

3-2 個人情報の保護について

受注者は、この契約による業務を処理するための個人情報の取り扱いについては、「高知県個人情報取扱特記事項」を守らなければならない。

3-3 成果物の提出場所

提出場所：エフビットコミュニケーションズ株式会社 新規事業開発プロジェクトまで

住所：京都府京都市南区東九条室町23番地